

# 国算 + 教養×読解 + 英語【選択】

中学進学以後を見据え、基幹3科(国算英)の基礎学力の充実を図ります。

※小学4年生は国算の基本受講のみとなります。

◆**国語**:漢字+読解+作文の三本柱で国語の総合力を養います。

※漢字は単純暗記ではなくコトバとしての理解・定着を図ります。

◆**算数**:教科書準拠+「考える算数」で理数的思考力を養います。

※「考える算数」では論理や図形に関する問題に数多く取り組みます。

◆**英語**:4技能をバランス良く学習し中学進学に備えます。

※4技能:Reading(読む)・Writing(書く)・Listening(聴く)・Speaking(話す)

◆**読みトレ教養**:理科や社会に関わる「なぜ？」を題材とした文章を通じて、読解力と一般教養を身につけます。

※テーマ例:「日本海側に雪が多いのはなぜ?」「竜巻はどうやって起きるの?」「なぜ節分には豆をまくの?」など

◆**テスト**:全国規模の学力テスト(国算)+各種塾内テスト

**小学部**  
小4/小5/小6

## 読みトレ教養～学びの土台は読むチカラ～

「文章を読んで理解する力＝読解力」は全ての教科の学びに必要です。例えば、算数にも読解力が必要なことは、次の問題を見れば分かります。

**【問】 18人のクラスメイトが1列に並んだ。Aさんの前には8人いる。Aさんの後ろには何人いるか？**

$18 - 8 = 10$ 人と言いたいところですが、答えは9人。前に並ぶ8人とAさん自身を足した人数を18人から引くのが正解。つまり、引き算を知っていても、問題で「何を問われているか」が理解できなければ誤った答えを導き出してしまいます。学年が上がるほど問題が複雑化していくため、読解力が低いまま放置していると、次第に国語のみならず他教科の成績も下がっていく傾向にあります。また、背景となる知識があることで読解の助けにもなるため、CLEARでは、理科や社会を題材とした文章を通じて、読解力の向上とともに一般教養の学習にも努めます。

